

第2章 目指す姿とコンセプト

- 2-1 現状の課題
- 2-2 課題を解決する再整備のポイント
- 2-3 再整備のコンセプト
- 2-4 再整備イメージ
- 2-5 展開される風景
- 2-6 施設配置例
- 2-7 周辺との連携と展開

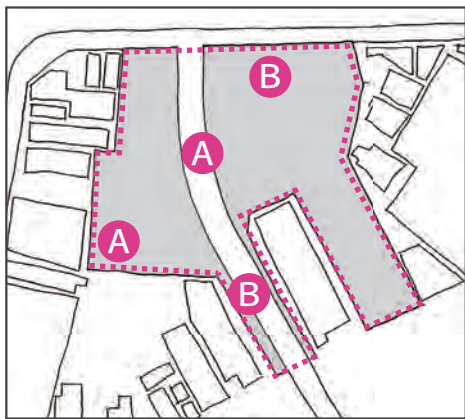
第2章 目指す姿とコンセプト

2-1 現状の課題

中央公園は、日常的に憩いの場として親しまれるとともに、イベントやマーケットの会場としての活用も行われていますが、基本計画を検討するために開催した市民・利用者・民間事業者によるワークショップや子育て世代の皆さんなどとの意見交換では、あゆみ橋への動線が公園内を縦断していることや、階段やフェンス、芝生広場やタイル舗装により、広場が分断されていること、また、雨をしのいだり、立ち寄って過ごすための居場所がないことや、かつて三枚橋城・沼津城が立地した歴史の継承やストリートスポーツの利用のあり方などが課題として挙げられました。

あゆみ橋や螺旋階段により狩野川の護岸や対岸の香貫公園に接続しているものの、これら近接エリアとの連携や、分断された公園内が一体として活用できるようになることで、今まで以上に日常的な利用、イベント、マーケットなどの活用が期待されています。

市民参加型ワークショップで整理した現状の課題



課題 A



休憩や憩える居場所がなく、飲み物を買える店舗もないため滞留動機が生まれにくい。



段差によって使いづらく、大きく育った樹木による木陰がある一方、陽あたりが悪く暗い印象。



課題 A



歩道によって公園が分断され、一体感に欠ける。



女性や乳幼児を連れたママはトイレに入りづらく、使いづらい。



課題 B



あゆみ橋下の空間の有効な活用と管理や出し入れがしやすい倉庫の位置を検討。



課題 C



フェンス・段差によって南側（下）の広場がわかりづらく、アクセスしにくい。



南側（下）の広場は水はけが悪く、遊具（ブランコ）はあるもののやや暗い印象。



課題 D



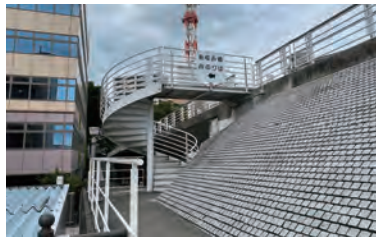
通りに開かれているものの、さんさん通り・交差点から視認しづらい。



隣地の建物と調和する良好なつながり方のデザイン。



狭い螺旋階段から狩野川（風のテラス・護岸）へのアクセスがわかりづらく、つながりが感じられない。



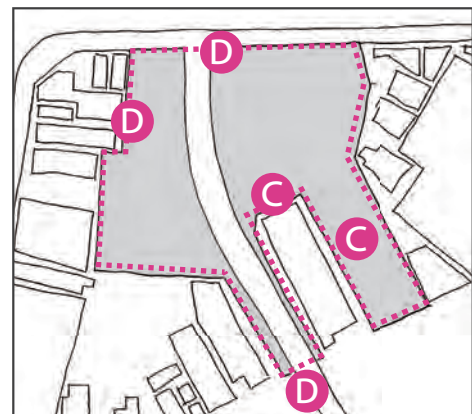
ストリートスポーツの音やイベント時の大きな音など、近隣への配慮が必要。

課題 F

課題 E



かつて三枚橋城・沼津城があった城址の歴史や文化を継承するシンボルが必要ではないか。

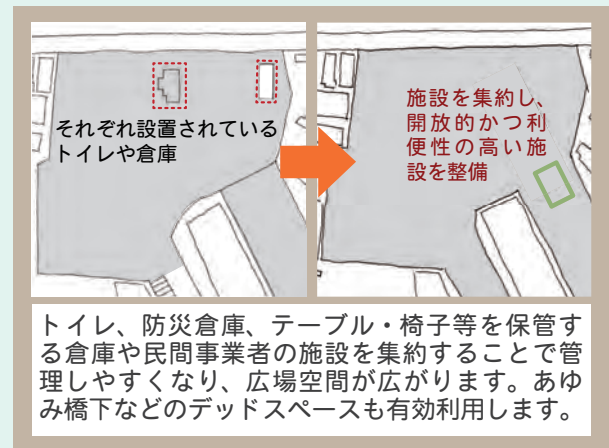
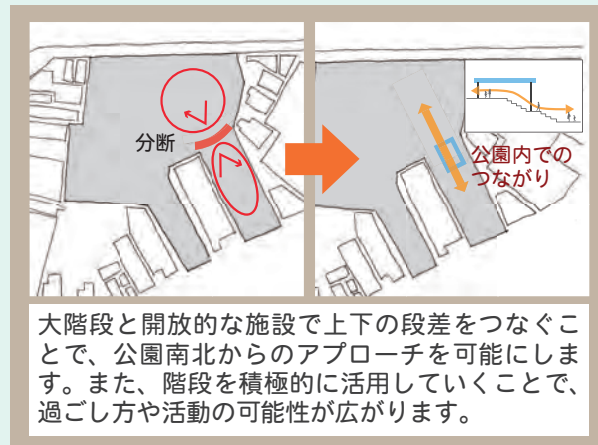
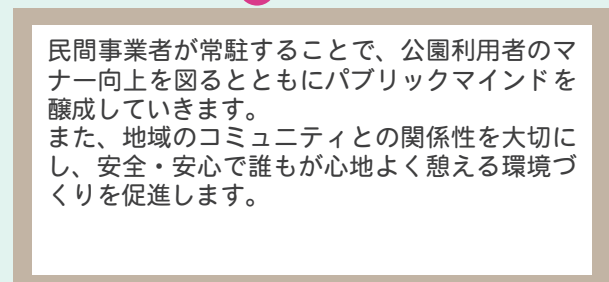


課題のほか、万が一の災害時には中央公園が地域・市民の安全と安心を支える機能を備えた防災拠点として有効な公園となる整備を求める意見も聞かれました。

2-2 課題を解決する再整備のポイント

市民ワークショップ等で挙げられた課題は、ハードの整備に限らず、運営や利活用の中で解決できるものもあります。多様な過ごし方、使い方を誘発し、活動の可能性が広がる機能や、周辺とつながり、にぎわいが波及していく仕掛けについて、再整備のポイントとして解説します。

再整備のポイント

■ 広場空間の確保 **A**■ 施設の集約 **B**■ 公園内での繋がり **C**■ 周辺との調和 **D**■ 歴史・文化の継承 **E**■ 近隣への配慮 **F**

2-3 再整備のコンセプト

中央公園は、市中心部に位置し、沼津の心象風景とも言える狩野川に隣接、さらにはあゆみ橋によって香貫公園へとつながるまちなかの拠点です。様々なイベントや市民による多様な活動の舞台として沼津ならではの価値を創造し続けてきました。

再整備にあたり、基本方針で示された「中心市街地に相応しい市民による新しい暮らしの発信・実験拠点となる公園」を市民自らが、創り育み続けていくために、多様な活動の更なる広がりや、周辺とつながり波及していく仕掛けなど、時代の変化に対応しながら、沼津ローカルの魅力を発信し続ける中央公園を目指します。

また、「沼津市中心市街地まちづくり戦略」における「ヒト中心の公共空間の創出」や「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」、「周辺地域資源との連携」にも重要な役割を担っています。

基本方針のコンセプト・機能

中心市街地に相応しい市民による新しい暮らしの発信・実験拠点となる公園

- ① 未来のまちなかの日常を実践し、発信する「拠点」機能の強化
- ② 学び・実験・チャレンジする活動を支える「ラボ」機能の導入
- ③ 集まる・安全安心・開かれている「オープンスペース」機能の強化



民間の活力やアイデアを重ね合わせ、
「ヒト」「コト」「モノ」をマネジメントしながらエリアの価値を創造



「つながる」「ひろがる」Link Up NUMAZU！（仮）
沼津の多様で豊かな暮らしと
多彩なローカルカルチャーの拠点「中央公園」（仮）



2-4 再整備イメージ

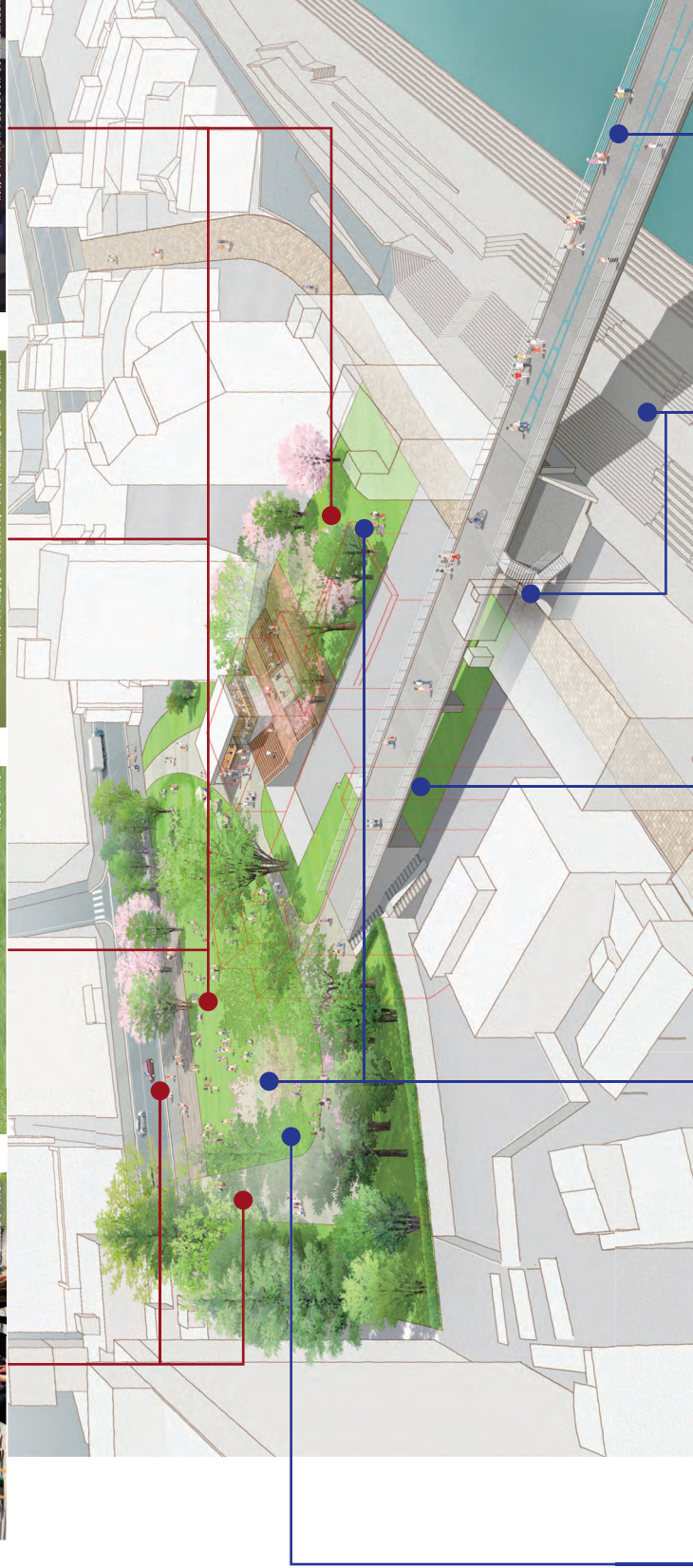
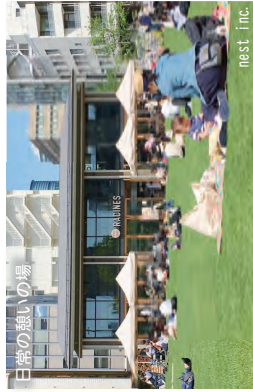
■イメージパース



■イメージ鳥瞰図



2-5 展開される風景



2-6 施設配置例 上下の広場を大階段でつなぎ、空間を結節する位置にトイレ・倉庫のほか、テイクアウトカフェなどの開放的な民間収益施設を配置します。

センター広場を広く確保することで、イベント時には上下の広場をダイナミックに使うことができます。

※今後の詳細設計にあたっては、ランドスケープアーキテクト（空間デザインの専門家）などの意見も取り入れながら決定していきます。

